



編集・発行 さわやかちば県民プラザ 千葉県体験活動ボランティア活動支援センター

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉 4-3-1 【URL】 <https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/volunteer/>

受付：毎週火曜日・木曜日・土曜日 午前9時から午後5時（年末年始、さわやかちば県民プラザ休所日は除く）

TEL・FAX 04-7135-2200 メール：vc_chiba@pref.chiba.lg.jp

体験活動やボランティア活動の支援、相談、情報の収集・発信、講座の開催を行っています。

千葉県体験活動ボランティア活動支援センターでは、

体験活動やボランティア活動をしてみたいという方に対して、情報提供や支援を行っています。

電話やメールによる相談、ホームページでの情報発信も行っています。支援センターブログでは、今伝えたいこと、旬の話題に関する情報を発信しておりますので、是非、ご覧ください。

Let's do it !!

【県内に広げ！

企画も実施も高校生・大学生がつくる体験の広場！

高校生・大学生ボランティアスタッフ17人で当日運営 笑顔がいっぱい！

実施日 8/27(日) 10時～正午 天候：雨
会場 さわやかちば県民プラザ 大研修室 他
参加者 小学生～中学生 35人
内容 ブーメラン作り、ペットボトルキャップ金魚すくい
爆弾ゲーム&宝探し、風船リレー



ボランティアスタッフからの声 アンケートより抜粋

◎自分たちが考えた企画をよろこんでもらえることに嬉しさを感じた。

◎思ったより最初のブーメラン作りに時間がかかり、予定より30分ほど多くかった。こんなに延びるとは思っていなかったが、本番が予定通りにいかなかった、その場その場で対応していく経験になった。

◎幅広い年齢の子どもたちが集まったからこそ楽しさと難しさがあったように思う。

◎とりあえず、やってみることの大切さを実感した。実際の体験や、保護者からのコメントなどからわかった失敗は、次への成功への道筋であるので、ぜひ失敗を活かして成功につなげていきたい。

これからの活動について

活動中は、大人から見ると要領を得ない場面や、もどかしく見えることがあります。しかし、効率や見栄えではない一生懸命さがそこにはあります。また、参加者とボランティアスタッフの年齢が近いこともあり、彼らが参加者の憧れの存在となっていることが魅力です。大人が信じて任せる、時には意思をもって見守りに徹することなど、若者がチャレンジする場を準備することが大切だと思います。支える大人の理解と協力がこの活動には不可欠です。

次回予告 どんな企画になるかお楽しみ！！ 体験の日 2024年2月25日(日)

令和 5 年度体験活動及びボランティア情報

【生涯学習・社会教育実践研究交流会】

ZOOM によるオンライン開催 参加費無料

人生 100 年時代～地域とつながる生涯学習～

基調講演 文部科学省 国立教育政策研究所
社会教育実践研究センター社会教育調査官
石津峰 氏

事例発表 6 団体

- ① おはなしのつばさ（鎌ヶ谷市）
- ② 児童家庭支援センターいちのみや（一宮町）
- ③ NPO 富里のホタル（富里市）
- ④ こどもと本を結ぶ会（富津市）
- ⑤ 船橋市教育委員会生涯学習部社会教育課（船橋市）
- ⑥ 千葉市若松公民館（千葉市）

日 時 12/16（土）午後 1 時～午後 4 時

申 込 さわやかちば県民プラザホームページより
締切 11/15（水）募集人数 100 人

問合せ さわやかちば県民プラザ事業振興課
Tel:04-7140-8615

災害時の電力ボランティアを募集！！

県民・県内企業の皆さんがお持ちの電気自動車や持ち運び可能な小型発電機を、避難所等で活用させていただく「災害時における電力ボランティア登録制度」をはじめました。災害時の「共助」に関心のある皆さんの登録をお待ちしています。

対 象 電気自動車等・可搬型発電機をお持ちの県内事業所の方

電気自動車等をお持ちの県民の方

期 間 登録日から 3 年間

詳細は [千葉県 電力ボランティア](#) で検索

問合せ 千葉県 防災危機管理部 危機管理政策課
復旧復興・被災者支援室
Tel:043-223-3404

【災害ボランティア情報】

令和元年台風 15 号の甚大な被害を受けた房総半島。

長期化する支援を誰がどうやって担っていくのか・・・、わたしたち、地域での支援に当たる NPO の仲間たちと話し合いを重ね、市民による支援のプラットフォームが必要だ、という結論に達しました。

NPO、各市町の社会福祉協議会、県、各市町村の行政が、連携により、台風 15 号および台風 19 号被害についての復旧活動を進めるとともに、将来の地域づくりを見据えて、農業、漁業、観光などの基幹産業の再生を支援することを通して、地域住民の力で地域住民の暮らしを支えることを目標に活動しています。

問合せ 千葉南部災害支援センター
鴨川市金東 5 番地鴨川市里山オフィス
Tel: 0470-94-5551 FAX 050-3737-9081
<http://scdrc.jp/>

身近な自然体験活動を紹介！

【冬至 12/22(金)にスローなひとときを】 100 万人のキャンドルナイト

冬至の夜 8 時から 10 時の 2 時間、電気を消してスローな夜を過ごしませんか。自然を身近に感じて、暮らしの中で五感を磨きましょう。

B-Net 子ども教室

アッタくんに遊びにいこう

みんなで自由に遊べるアッタくん。子どもたちの自主的な活動を大切にしながら、大学生のおにいさん、おねえさん、地域の人たちが一緒に遊んでくれたり、話し相手になってくれたりします。

日 時 毎週木曜日 放課後～午後 5 時

会 場 B-Net 子どもセンター(印旛郡酒々井町酒々井 898-7)

問合せ B-Net 子どもセンター

Tel:043-496-6353 Fax:043-496-6327

<http://www.b-net.or.jp/>

※大学生・地域スタッフを随時募集しています！
お気軽にお問い合わせください。

小中学生ボランティア募集♪

「2023 ことばの冒険の部屋」で小学校 1 年生から 4 年生に本を紹介してくれる小中学生を募集します。

内 容 小学校 1 年生～4 年生が「本」や「読書」、「ことば」に関わる活動 90 分の中での、本の紹介または読み聞かせ（目安：1 人 10 分前後）、活動のお手伝い

対 象 小学校 5 年生～中学校 3 年生 各 2 名程度

日 時 12/27（水）午前 9 時 30 分～午前 11 時

参加方法 <http://www.be-com.jp/>をご覧ください

参加者には「ボランティア証明書」を発行

問合せ NPO 法人 BeCOM

銚子市中央町 12-13 すきくるステーション

Tel:0479-25-8870 Fax:0479-26-3292

SDGs は、ボランティアや体験活動の行動目標！

個人の気候行動を呼びかける国連のキャンペーン

「**いまずぐ動こう、気温上昇を止めるために。**

個人でできる 10 の行動」を紹介します。

- 1 家庭で節電する
- 2 徒歩や自転車で移動する、または公共交通機関を利用する
- 3 野菜をもっと食べる
- 4 長距離の移動手段を考える
- 5 廃棄食品を減らす
- 6 リデュース、リユース、リペア、リサイクル
- 7 家庭のエネルギー減を替える
- 8 電気自動車に乗り換える
- 9 環境に配慮した製品を選ぶ
- 10 声を上げる

声をあげることが、変化をもたらす最も手っ取り早く最も効果的な方法の一つです。あなたの隣人や同僚、友人、家族と話してください。経営者には、あなたが大胆な変化を支持することを伝えましょう。地域や世界のリーダーたちに今こそ行動を起こすように訴えましょう。

<https://www.unic.or.jp/files/actnow.pdf>

誰かのためと思ってやっていなくても何気ない行動が誰かのためになっている、これを私たちは広い意味でボランティアだと考えています。

誰もが気温上昇を止めるためにできることがあります。